

2 0 2 5 年 3 月 3 1 日
山梨県信用農業協同組合連合会

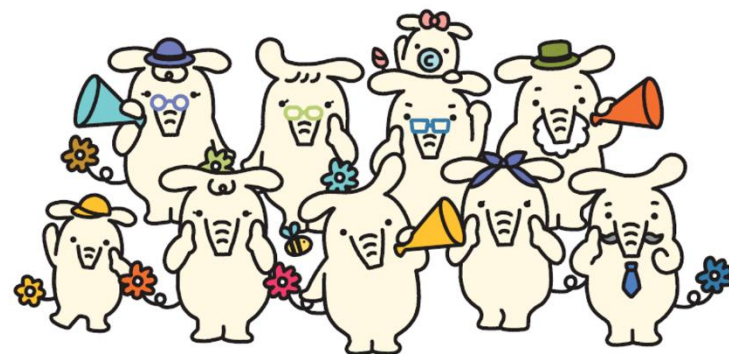
JAバンク山梨における 地域密着型金融の取組状況 (2024年度)



よりぞう

©よりぞう

- J Aバンク山梨（山梨県下 J Aと山梨県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、2022～2024年度 J Aバンク山梨中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- 今般、**2024年度**の**取組状況**についてご報告いたします。



- | | |
|---|---------|
| 1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援 | …… P 3 |
| 2. 担い手の経営のライフステージに応じた支援 | …… P 11 |
| 3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した
資金供給手法の徹底 | …… P 16 |
| 4. 農山村等地域育成への貢献 | …… P 18 |

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

- J Aバンク山梨は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

(3) J A内事業間連携の強化

(4) J Aバンク利用者満足度調査の実施と結果の活用

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

- J Aバンク山梨は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 2025年3月末時点のJ Aバンク山梨の農業関係資金残高（注1）は**5,819百万円**、日本政策金融公庫等の受託貸付金（注2）残高は**7,298百万円**を取扱っています。

（注）

1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

2 J Aバンク山梨が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	2025年3月末現在
プロパー農業資金	4,108
農業制度資金	1,711
農業近代化資金	1,629
その他制度資金	82
合 計	5,819

(注)

1 「プロパー農業資金」とは、ＪＡバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をＪＡバンク山梨が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでＪＡバンク山梨が低利で融資するものを対象としています。

3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーＳ資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【営農類型別農業資金残高】

単位 百万円

	2025年3月末現在
農業	5,819
穀作	192
野菜・園芸	1,050
果樹・樹園農業	1,000
工芸作物	0
養豚・肉牛・酪農	254
養鶏・鶏卵	32
養蚕	0
その他農業	3,291
農業関連団体等	0
合 計	5,819

(注)

1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

2 「農業関連団体等」には、ＪＡや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

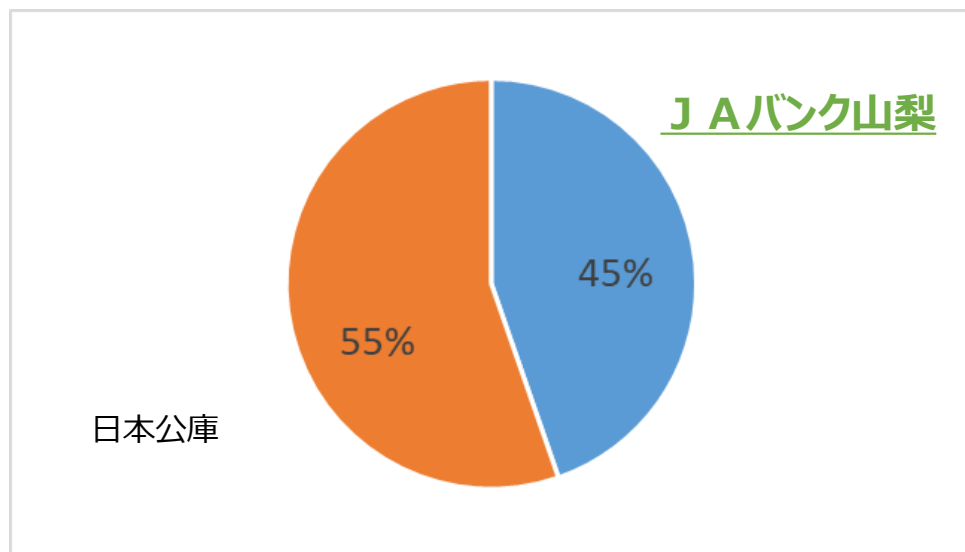
1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

- 主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【公庫農業資金の取扱いシェア】

（2025年3月末時点）

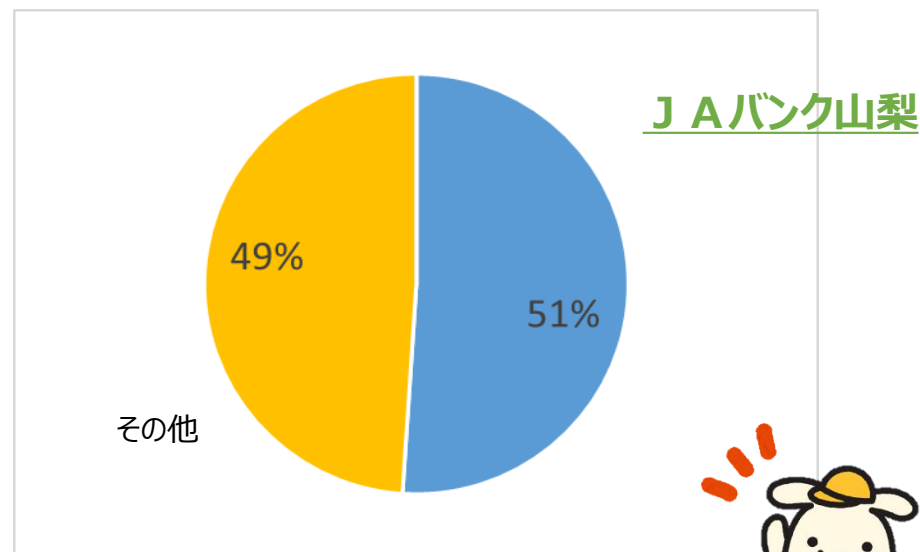
出所：J Aバンク山梨、日本政策金融公庫



【農業近代化資金の融資残高シェア】

（2025年3月末時点）

出所：農林水産省

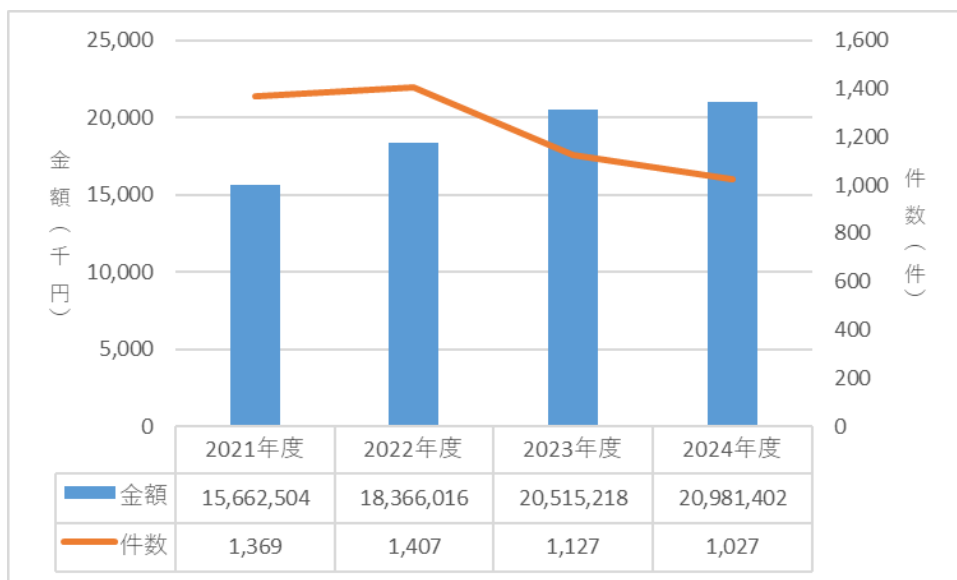


（注）J Aバンク山梨では、主にJ Aを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

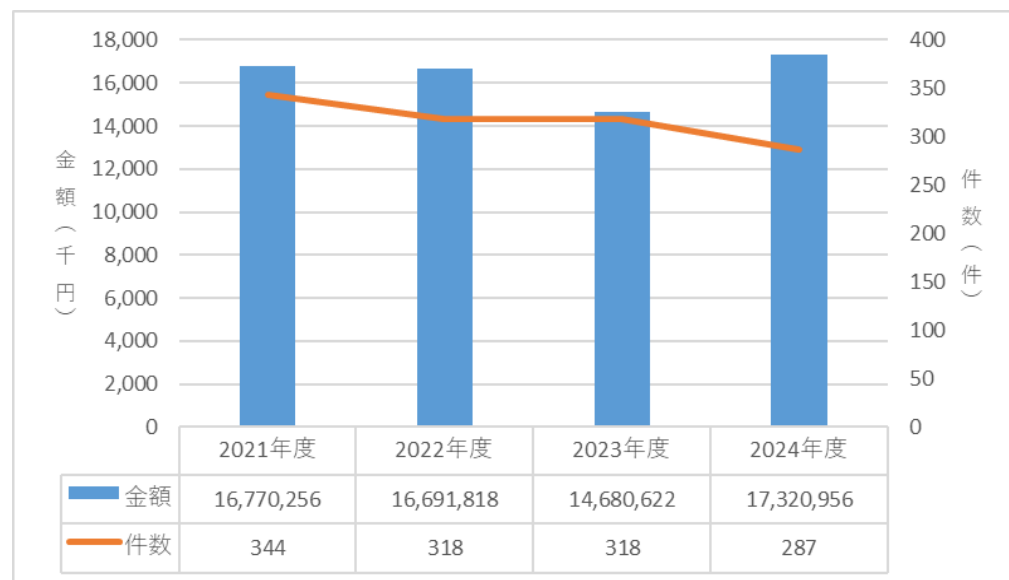
1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

- 農業資金を借り入れた農業者に対し、金利負担、保証料負担を軽減するため**利子補給**と**保証料助成**を行なっています。
- 対象となる資金は農業近代化資金、アグリマイティー資金、農機ハウスローン等です。

【利子補給の実績】



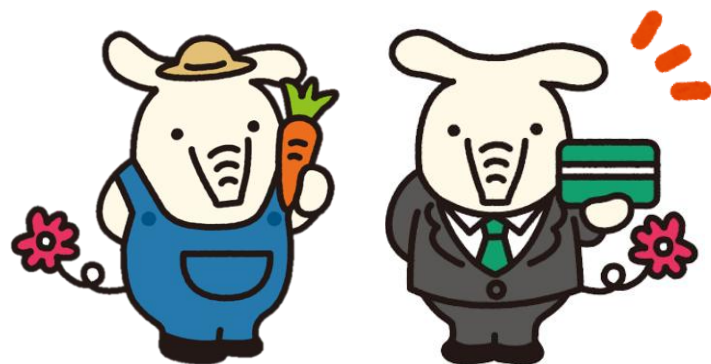
【保証料助成の実績】



1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

- J Aバンク山梨では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。
- J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「**担い手金融リーダー**」を、2024年度末時点で8 J A・**30名**配置しています。
- J A系統独自の農業融資資格制度「**J Aバンク農業金融プランナー**」を導入しており、有資格者は2024年度末時点で県内に**88名**誕生しています。



J Aバンク農業金融プランナーとは

農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する**農業者の金融ニーズ**に応えていくことを目的としています

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

- 山梨県のＪＡグループでは、信連・中央会・全農やまなしが一体となって「**県域担い手サポートセンター**」を構築しており、担い手に対し事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでいます。
- 当センターでは、山梨県や峡東農務事務所が開催する新規就農相談会へ参加し、就農相談者へＪＡ事業等の紹介に努めています。
- 組合員・利用者の相続相談ニーズに応えるため、一部ＪＡに「**相続相談員**」を設置しています。「相続セミナー」や「終活イベント」を定期的を開催し、相続発生後に加えて、相続発生前の相談にも積極的に対応しています。



相続セミナー



新規就農相談会

やまなし農業 応援します

農業をはじめたい、農業研修を受けたい、移住も考えている

農業用地の活用や取得をしたい、農機を借りたい・中古農機を入手したい

法人化をしたい、雇用・助成制度を知りたい

農業資金を借りたい、規模拡大等で助成や給付金制度を利用したい

販路を開拓したい、JAを利用したい、事業継承や相談で悩んでいる

ＪＡグループ山梨 担い手サポートセンター 〒400-8530 甲府市東田1-1-20 県ＪＡ会館1階 TEL：055-223-3526 E-Mail：manate@ja-yamanashi.or.jp URL：https://www.ja-manate-yamanashi.jp/

ＪＡグループ山梨は、信連・中央会・全農やまなしが一体となり、やまなし農業を支える幅広い担い手の多様化・高度化するニーズに迅速・的確に対応し、農業経営を強化して所得向上を図るなど常に皆さまに寄り添い支援します。

ＪＡグループ山梨だけではなく山梨県農政部・山梨県就農支援センター・山梨県農業金融など担い手の育成・支援にかかわる関係機関と連携して、マッチングなど相談者に寄り添った支援を行います。

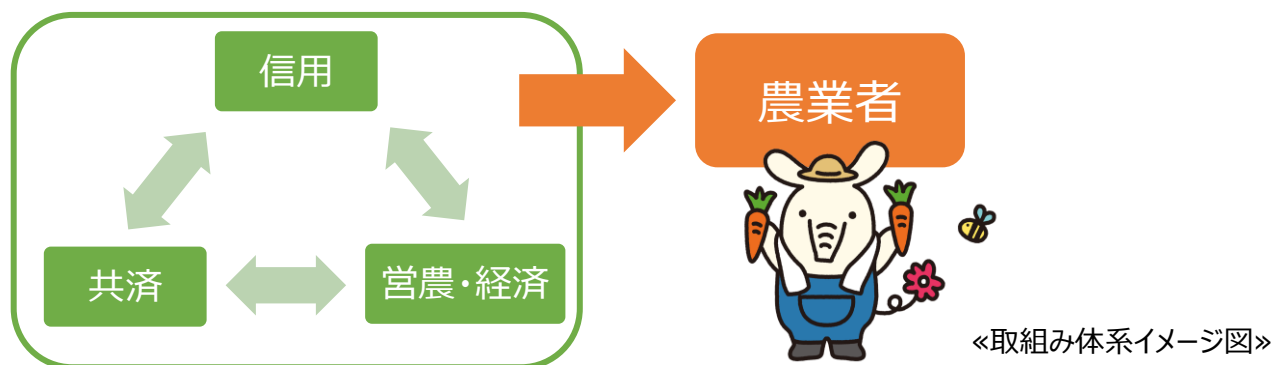
県庁所在地・地域活性化促進プログラムは終了しました。ご利用いただいた皆さまのフォローアップにお伺いし、更なる支援活動に生かしてまいります。

県域担い手サポートセンターチラシ

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

(3) J A内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズに応えるため、JAならではの総合事業を活かし、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、J A内事業間連携を強化しています。



(4) J Aバンク利用者満足度調査の実施と結果の活用

- J Aバンクでは、J Aの農業領域事業、地域領域事業に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測を行っています。
- 得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、商品性改善やサービス満足度向上に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

- J Aバンク山梨は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

**(2) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援
(商談会・ビジネスマッチング)**

(3) J Aバンク山梨講演会・セミナー等の開催・参画

(1) 次世代農業者の育成支援

- J Aバンク山梨では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金（公庫資金）等を取り扱っています。
- 日本政策金融公庫と連携をとりながら、次世代農業者のサポートに取り組んでいます。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件、百万円

種 類	2024年度 実行件数	2024年度 実行金額	2025年3月末 残高
青年等就農資金	10	72	392



2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

(2) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援(商談会・ビジネスマッチング)

- J Aバンク山梨は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。



【2024年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	内容
JR東海グループ 合同商談会	2024年 11月15日	JR東海	25社 (山梨・長野・神奈川)	JR東海グループ合同商談会を通じて、沿線各地ならではの個性や魅力溢れる商品を発掘し、地域活性化に繋げる狙い。本会は協力金融機関として参加。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

(3) J Aバンク山梨講演会・セミナー等の開催・参画

- J Aバンク山梨では、一流の経営者を招いた講演会や農業経営に関するセミナー等を開催・共催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【2024年度 講演会・セミナー等の開催・参画】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
専門学校県立農林大学校での研修	2024年9月13日	専門学校県立農林大学校	専門学校県立農林大学校訓練生	50名程度	・訓練生に対し J Aバンク事業を紹介
農業経営改善セミナー	2024年12月25日	山梨県	農業者	40名程度	・法人経営を検討している農業者向けに、講演とパネルディスカッション ・情報提供の場でJAバンク事業を紹介



専門学校県立農林大学校での研修



農業経営改善セミナー

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

- 地域活性化支援の一環として、農業所得向上・周辺地域の牽引役となる若手農業者の養成を目的とした、**JAバンク山梨 ニューファーマー育成スクール**を開催しております。
- 農業経営に重点を置いた研修で、農業法人の代表者や税理士を講師に迎え、受け身ではない演習を中心とした手や口を動かすセミナーです。
- 本スクールは2016年度より毎年開催され、修了生は90名以上となりました。



グループワーク



講義の様子



閉講式

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

- J Aバンク山梨では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

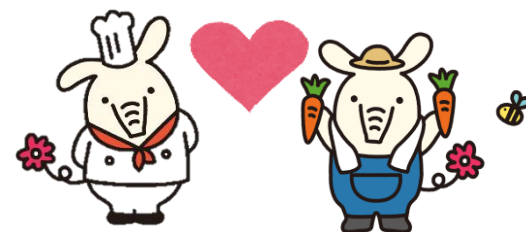
（１） 6次化産業の支援

（２） 負債整理資金による経営支援

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

(1) 6次産業化の支援

- J Aバンク山梨では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業化促進支援を行っています。



(2) 負債整理資金による経営支援

- J Aバンク山梨では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2024年度 負債整理資金の貸出実績】

単位 百万円

資金名	2024年度 実行件数	2024年度 実行金額	2025年3月末残高
農業経営負担軽減支援資金	1	1	27
畜産特別資金	0	0	0
その他			
合 計	1	1	27

・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山村等地域育成への貢献

(1) 食・農への理解促進

- J Aバンク山梨では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。
- 地域の小学生へ農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「**農業とわたしたちの暮らし**」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、各 J Aを通じて、2024年度には県下の小学校**170校**へ**約8,000冊**が配布され、学校の授業等において活用されています。



農業とわたしたちの暮らし



贈呈式①



贈呈式②

4 農山村等地域育成への貢献

- **食農教育活動**では、実際に子供たちのもとを訪れ、山梨県農業の特徴や県特産物を紹介し、農業の魅力を伝えるとともに地産地消を促す取組みを行なっています。

【ＪＡバンク山梨食農教育応援事業による活動内容】

活動名	活動内容
食農教育出張授業	県内幼稚園・保育園や児童クラブへ出向き、食の大切さや食を支える農業について知識を深めてもらうため、山梨県農業の魅力や県産品、ＪＡについて紹介しました。



食農教育出張授業①



食農教育出張授業②



食農教育出張授業③

4 農山村等地域育成への貢献

- JAバンク山梨では、地域に根差した金融機関として、組合員および地域関係者の皆さまの金融知識向上を目的とした**金融教育**を展開しております。資産形成が家庭科授業のカリキュラムに組み込まれている高等学校に対して、**金融教育出前授業**を開催しております。

【2024年度 金融教育イベントの開催】

実施校	参加対象者	内容
山梨県立北杜高等学校	総合学科 2 学年 (計93名)	1. 金融リテラシーとは 2. 家計管理とライフプランニング 3. 貯める・増やす ・資産形成の必要性 ・金融商品のちがい
山梨県立笛吹高等学校	3 学年 (計204名)	1. 金融リテラシーとは 2. 家計管理とライフプランニング 3. 使う ・ニーズとウォンツ ・キャッシュとキャッシュレス 4. 金融トラブル



金融教育出前授業①



金融教育出前授業②